

町会活動に関するアンケート

(青年部対象)

<概要版>

(1) アンケートの目的

本調査は、町会の抱える課題や地域の特性等を把握し、今後の持続可能な運営を支援する具体的な施策を検討することを目的とする。

(2) 調査の対象

町会青年部 (107 町会)

(3) 調査期間

令和7年7月29日～令和7年9月24日

(4) 回収結果

対象数	有効回収数	有効回収率
107	73	68.2%

目次

1	地区ごとの回答数について	[p. 1]
2	青年部長の年代について	
3	青年部長の職業について	[p. 2]
4	青年部の活動人数について	
5	活動者の年齢構成について	[p. 3]
6	青年部加入のきっかけについて	
7	青年部内の情報共有手段について	[p. 4]
8	青年部の運営上の困りごとについて	
9	青年部の運営・活動の工夫について	[p. 5]
10	町会運営や活動でデジタル化したいものについて	
11	町会運営のデジタル化の課題について	[p. 6]
12	青年部の活動の今後の在り方について	
13	特に力を入れている地域活動・課題の大きい地域活動について	[p. 7]
14	イベント活動の課題について	[p. 8]
15	特に重要な地域課題について	[p. 9]
16	町会の役割・存在意義について	
17	これからの町会について	[p. 10]
18	祭礼文化継承の課題について	
19	祭礼参加の充実感・負担感について	[p. 11]
20	行政からの依頼の負担感について	
21	行政からの依頼で負担感の大きいものについて	[p. 12]
22	町会加入促進について行政がすべき支援や協力について	
23	町会活動や運営に対して行政がすべき支援や協力について	[p. 13]

アンケート結果

1 地区ごとの回答数について

107 町会のうち、71 町会から回答があり、回答率は 68.2%となっている。うち、「青年部またはこれらに準ずる部や委員会はない」という回答は 8 件であった。

	町会数	回答数	回答率
麴町出張所地区	21	17	80.9%
富士見地区	8	4	50.0%
神保町地区	12	9	75.0%
神田公園地区	20	11	55.0%
万世橋地区	21	12	57.1%
神田駅東地区	9	8	88.9%
岩本町東神田地区	8	7	87.5%
秋葉原東部地区	8	5	62.5%
総計	107	73	68.2%

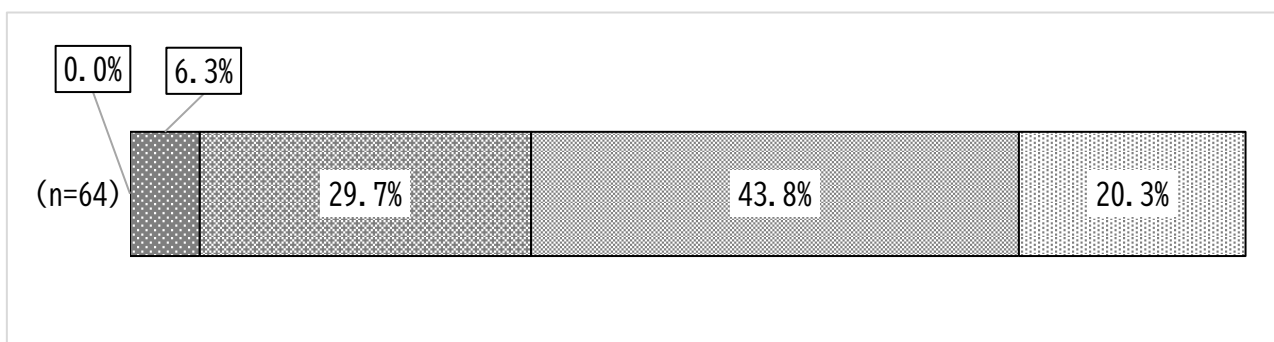
2 青年部長の年代について（問3）

「50 歳代」（43.8%）が最も高く、次いで「40 歳代」（29.7%）、「60 歳代以上」（20.3%）と続いている。

また、「20 歳代以下」（0.0%）の回答はなかった。

●青年部長の年代について教えてください。（○は1つ）

20 歳以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代以上
■	■	■	■	■

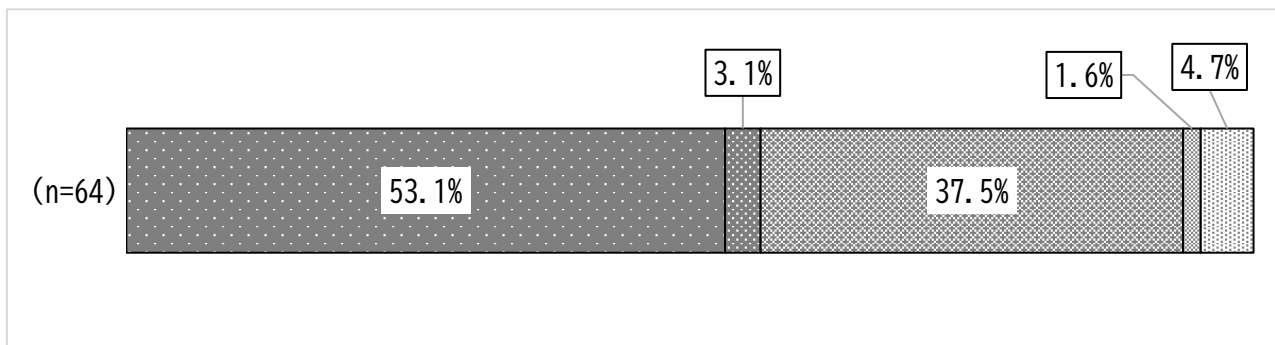


3 青年部長の職業について（問4）

「会社員・団体職員」（53.1%）が最も高く、次いで「自営」（37.5%）となっている。

●青年部長の現在の職業を教えてください。（○は1つ）

会社員・ 団体職員	公務員	自営	無職	その他
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

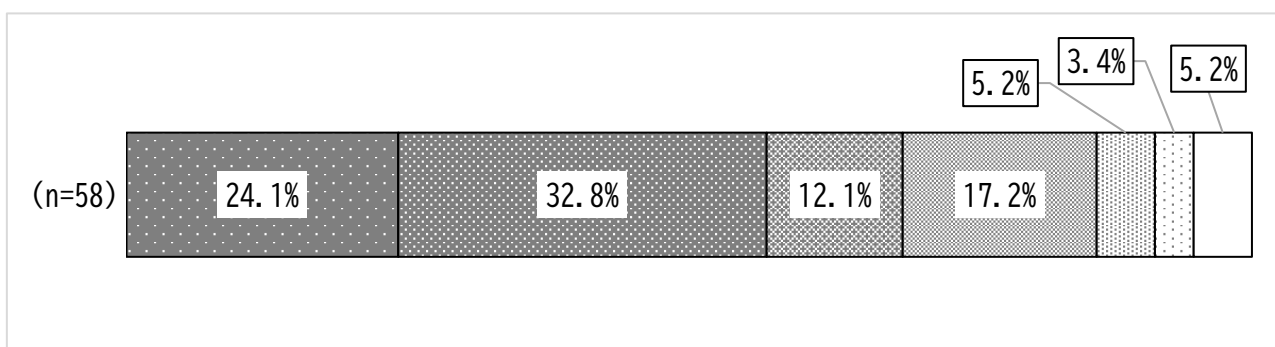


4 青年部の活動人数について（問6）

「6～10人」（32.8%）が最も高く、次いで「1～5人」（24.1%）、「16～20人」（17.2%）、「11～15人」（12.1%）と続いている。

●青年部で活動する人はおおよそ何人ですか。（自由記述）

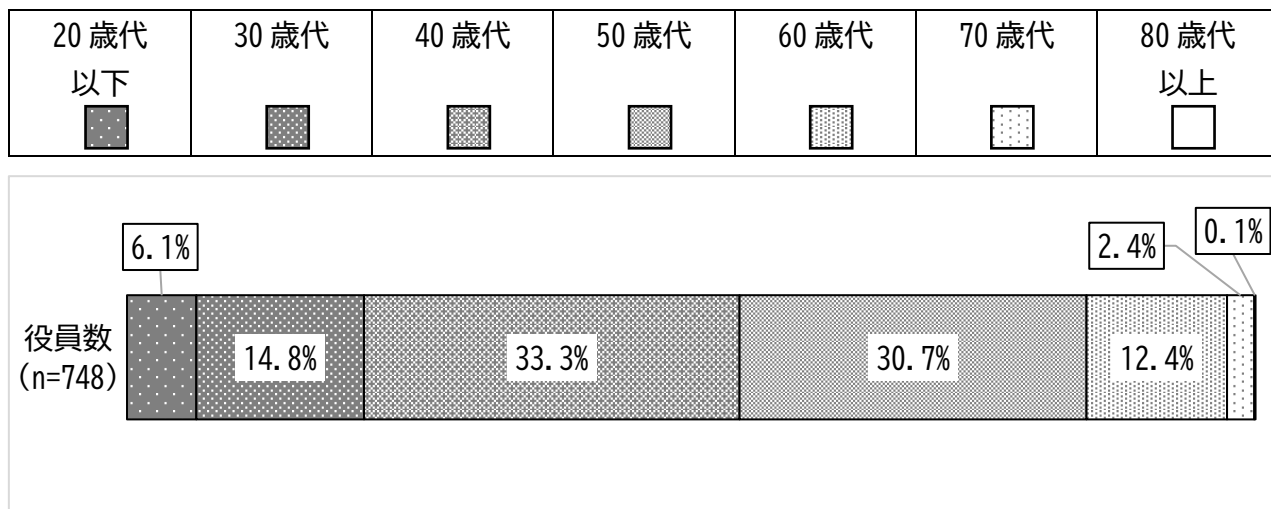
1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



5 活動者の年齢構成について（問7）

「40歳代」（33.3%）が最も高く、次いで「50歳代」（30.7%）、「30歳代」（14.8%）、「60歳代」（12.4%）、「20歳代」（6.1%）と続いている。

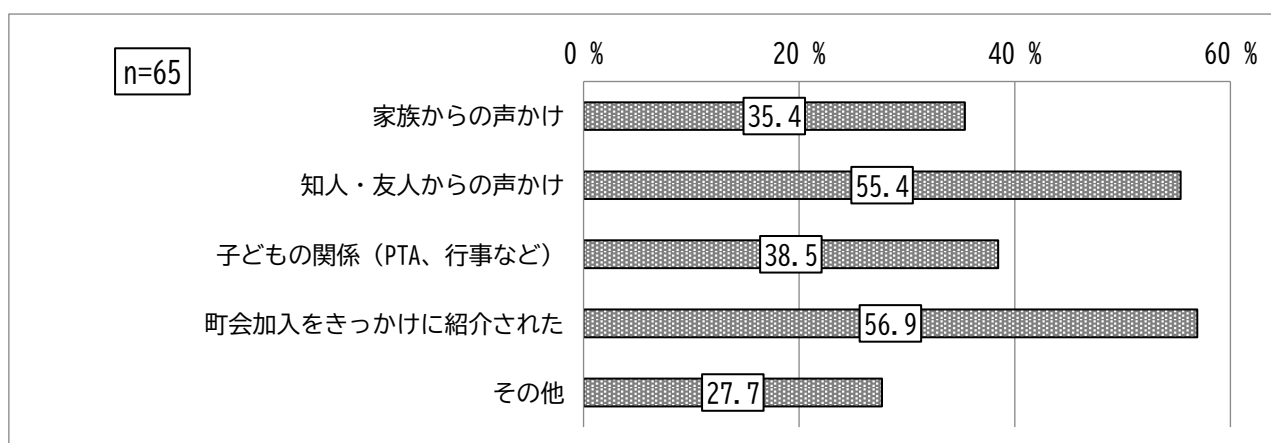
●活動者の年齢のおおよその人数を教えてください。（自由記述）



6 青年部加入のきっかけについて（問10）

「町会加入をきっかけに紹介された」（56.9%）が5割台半ばを超えと最も高く、次いで「知人・友人からの声かけ」（55.4%）、「子どもの関係（PTA、行事など）」（38.5%）、「家族からの声かけ」（35.4%）、「その他」（27.7%）と続いている。

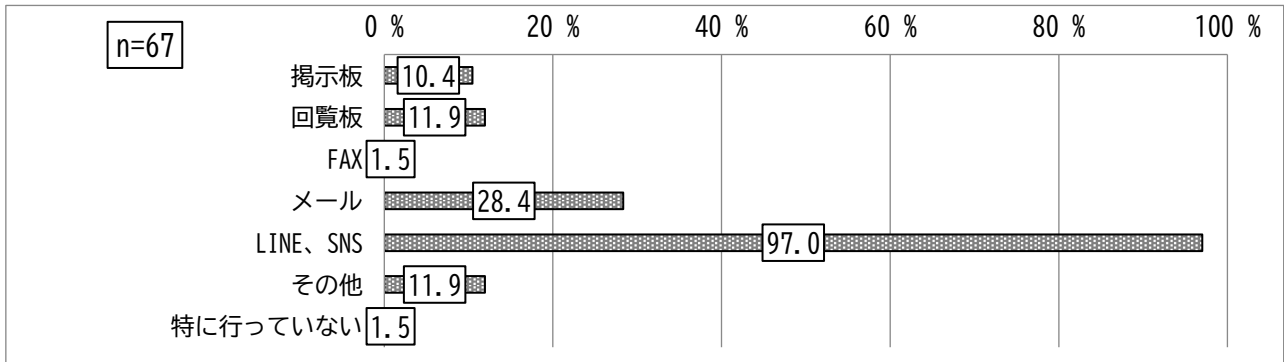
●現在、青年部等に参加している人が、部に参加するきっかけとなったものとして多いものはどれですか。上位3つまでお選びください。（○は3つまで）



7 青年部内の情報共有手段について（問 11）

「LINE、SNS」（97.0%）が9割台半ば超えと最も高く、次いで「メール」（28.4%）、「回覧板」（11.9%）、「その他」（11.9%）、「掲示板」（10.4%）と続いている。

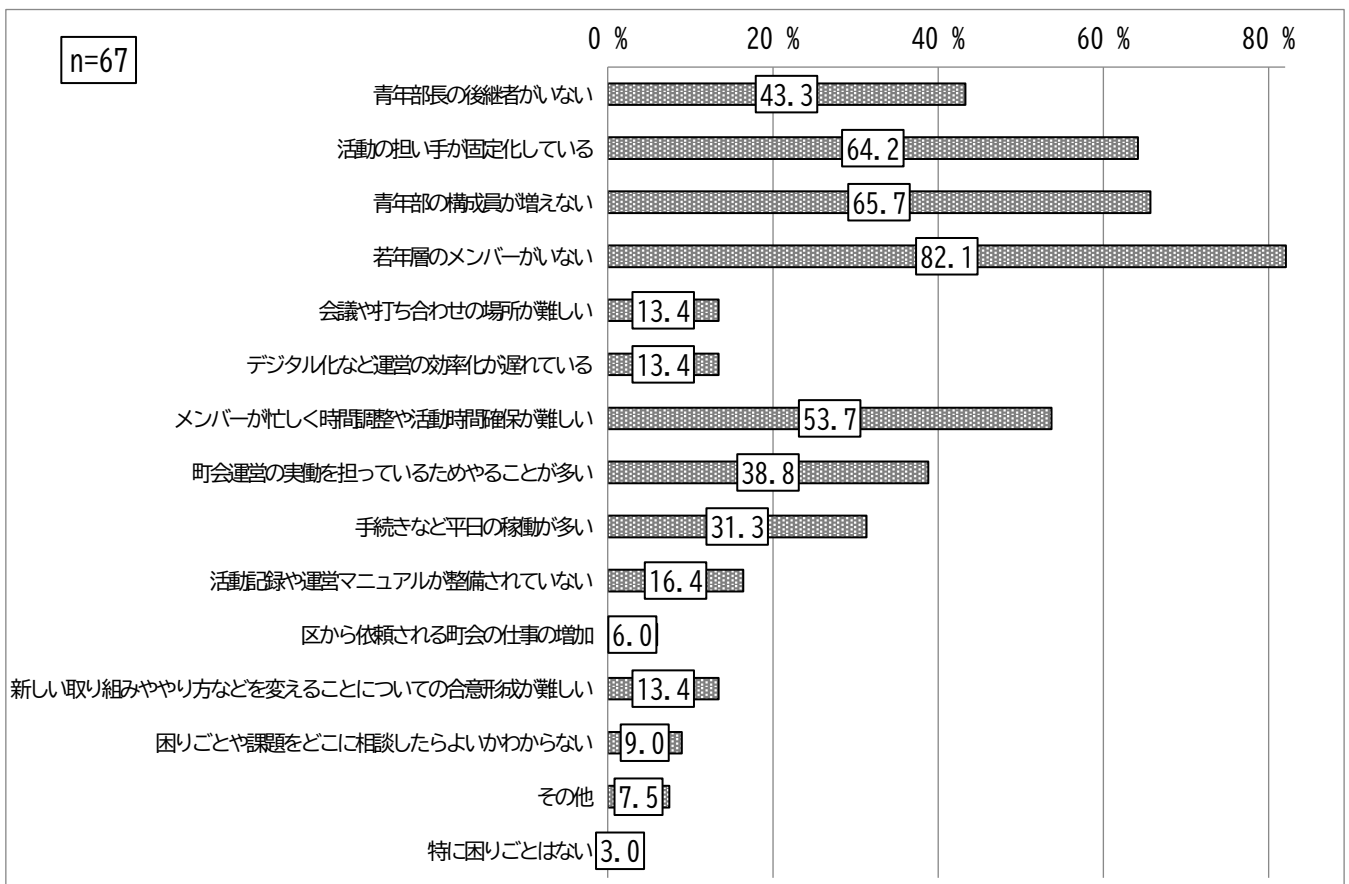
●青年部等のメンバーへのお知らせや情報共有はどのように行っていますか。（○はいくつでも）



8 青年部の運営上の困りごとについて（問 12）

「若年層のメンバーがいない」（82.1%）が8割超えと最も高く、次いで「青年部の構成員が増えない」（65.7%）、「活動の担い手が固定化している」（64.2%）、「メンバーが忙しく時間調整や活動時間確保が難しい」（53.7%）、「青年部長の後継者がいない」（43.3%）と続いている。

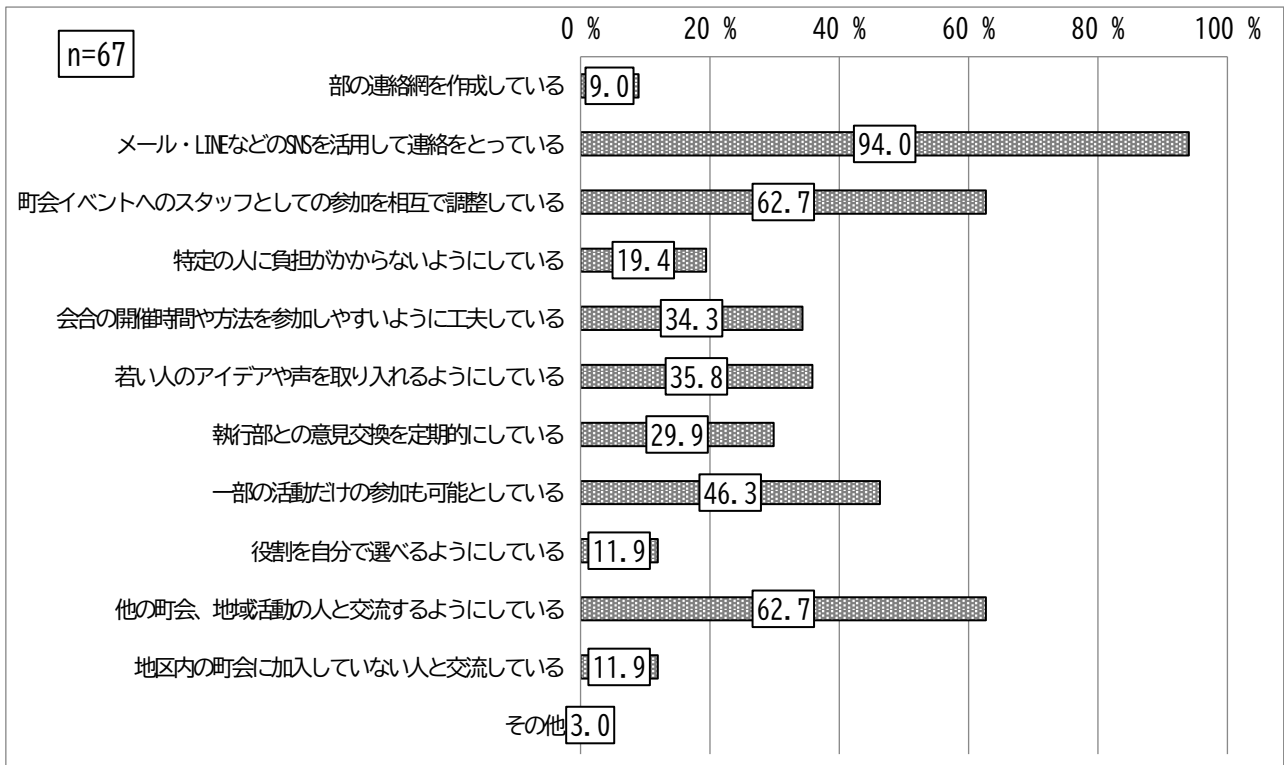
●青年部等の運営上のお困りごとはありますか。（○はいくつでも）



9 青年部の運営・活動の工夫について（問 13）

「メール・LINEなどのSNSを活用して連絡をとっている」（94.0%）が9割台半ば近くと最も高く、次いで「町会イベントへのスタッフとしての参加を相互で調整している」（62.7%）、「他の町会、地域活動の人と交流するようにしている」（62.7%）となっている。

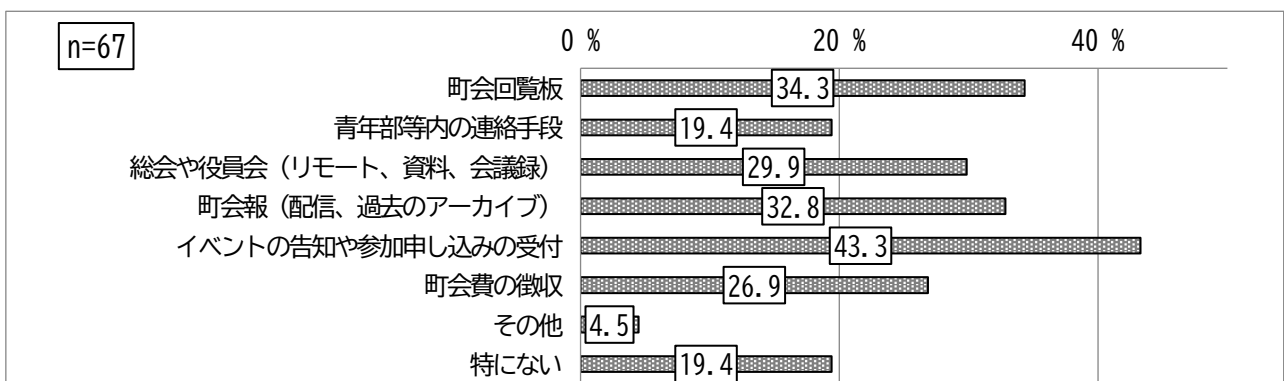
●青年部等の運営や活動の中で工夫していることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）



10 町会運営や活動でデジタル化したいものについて（問 14）

「イベントの告知や参加申し込みの受付」（43.3%）が4割強と最も高く、次いで「町会回覧板」（34.3%）、「町会報（配信、過去のアーカイブ）」（32.8%）、「総会や役員会（リモート、資料、会議録）」（29.9%）、「町会費の徴収」（26.9%）と続いている。

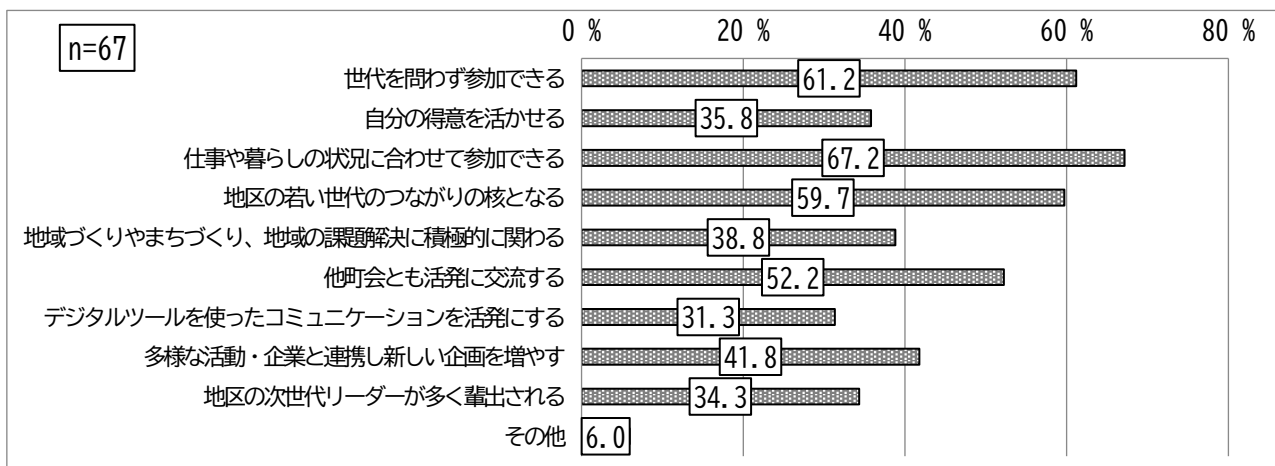
●町会運営や活動においてデジタル化したいものはありますか。（○はいくつでも）



11 青年部の活動の今後の在り方について（問 16）

「仕事や暮らしの状況に合わせて参加できる」（67.2%）6割台半ば超えとが最も高く、次いで「世代を問わず参加できる」（61.2%）、「地区の若い世代のつながりの核となる」（59.7%）と続いている。

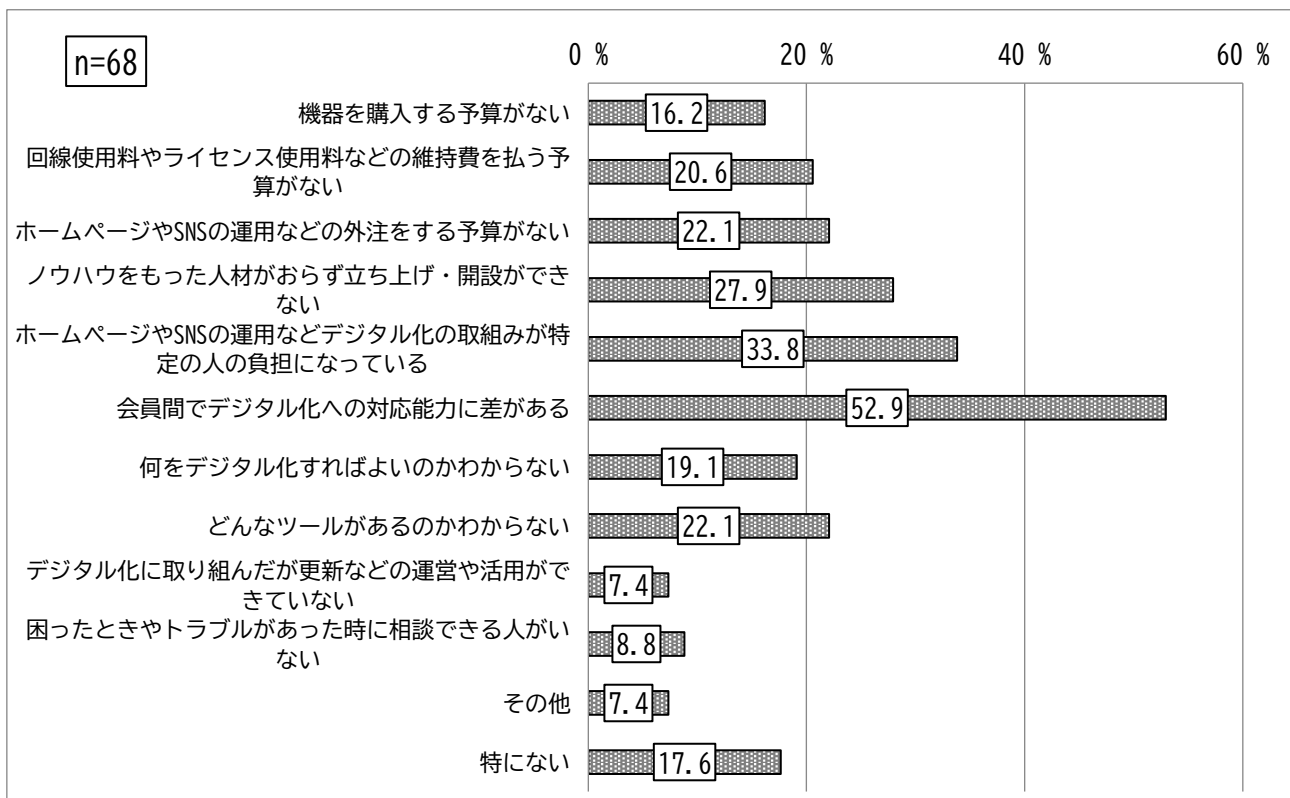
●青年部等の活動が、今後どのようなになればよいと思いますか。（○はいくつでも）



12 町会運営のデジタル化の課題について（問 15）

「会員間でデジタル化への対応能力に差がある」（52.9%）が5割超えと最も高く、次いで「ホームページやSNSの運用などデジタル化の取組みが特定の人の負担になっている」（33.8%）、「ノウハウをもった人材がおらず立ち上げ・開設ができない」（27.9%）と続いている。

●町会運営におけるデジタル化について課題や困りごとはありますか。（○はいくつでも）

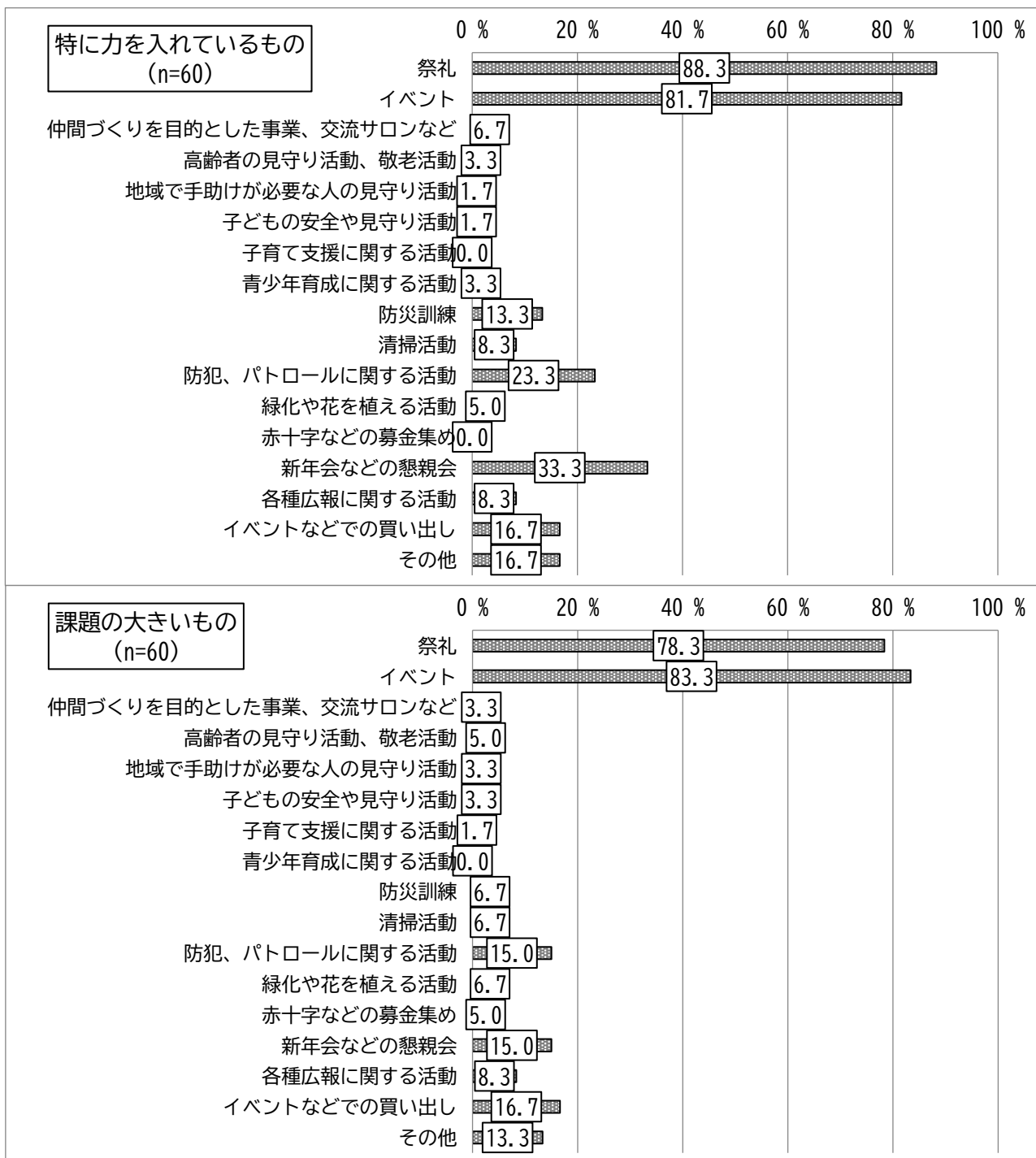


13 特に力を入れている地域活動・課題の大きい地域活動について（問17）

『特に力を入れているもの』は、「祭礼」（88.3%）が8割半ば超えと最も高く、次いで「イベント」（81.7%）、「新年会などの懇親会」（33.3%）となっている。

『課題の大きいもの』は、「イベント」（83.3%）が8割超えと最も高く、次いで「祭礼」（78.3%）となっている。

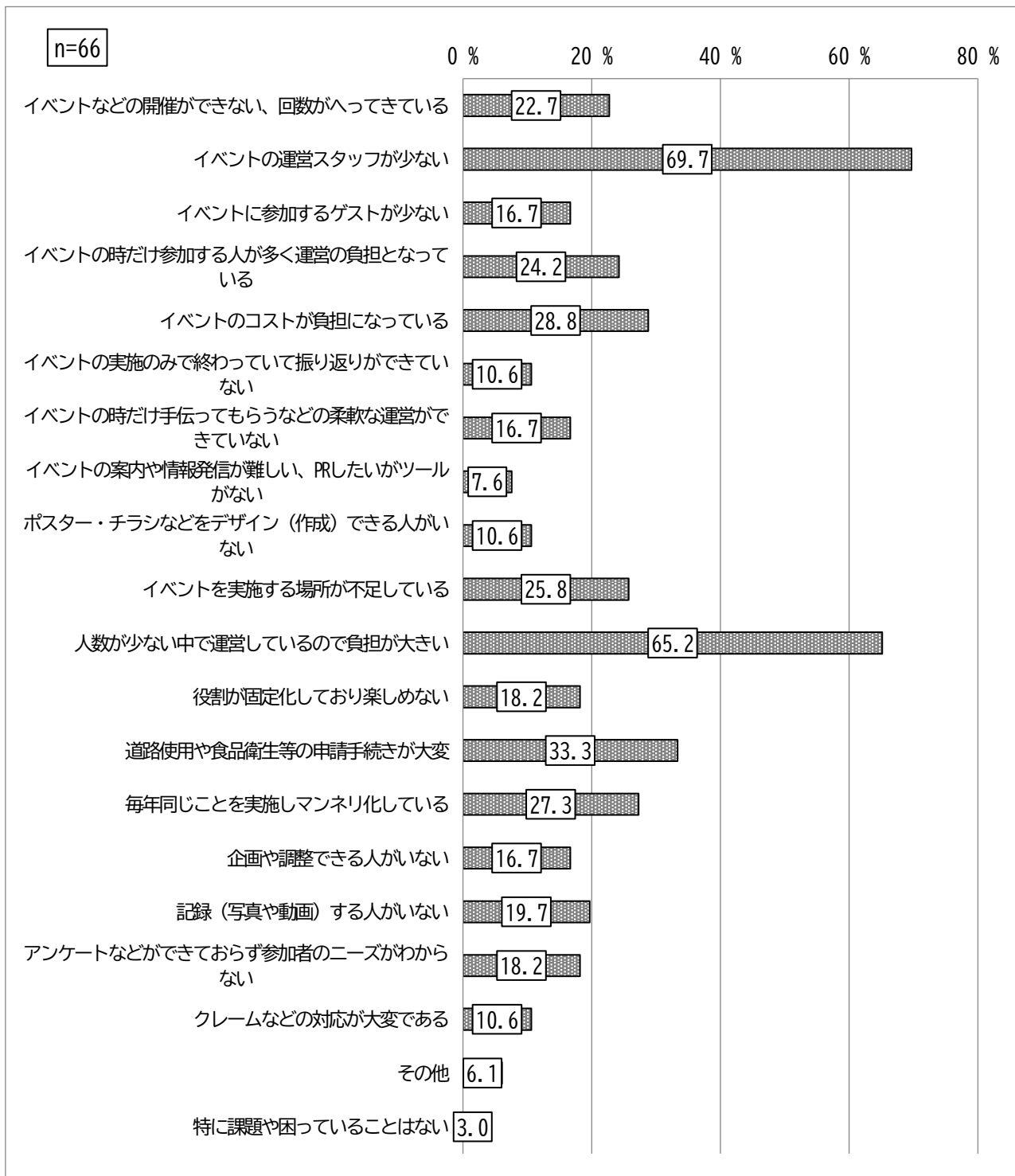
●次の各項目の活動について、「特に力を入れているもの」と「課題の大きいもの」をそれぞれ3つ選び○をつけてください。



14 イベント活動の課題について（問 21）

「イベントの運営スタッフが少ない」（69.7%）が約7割と最も高く、次いで「人数が少ない中で運営しているので負担が大きい」（65.2%）となっている。

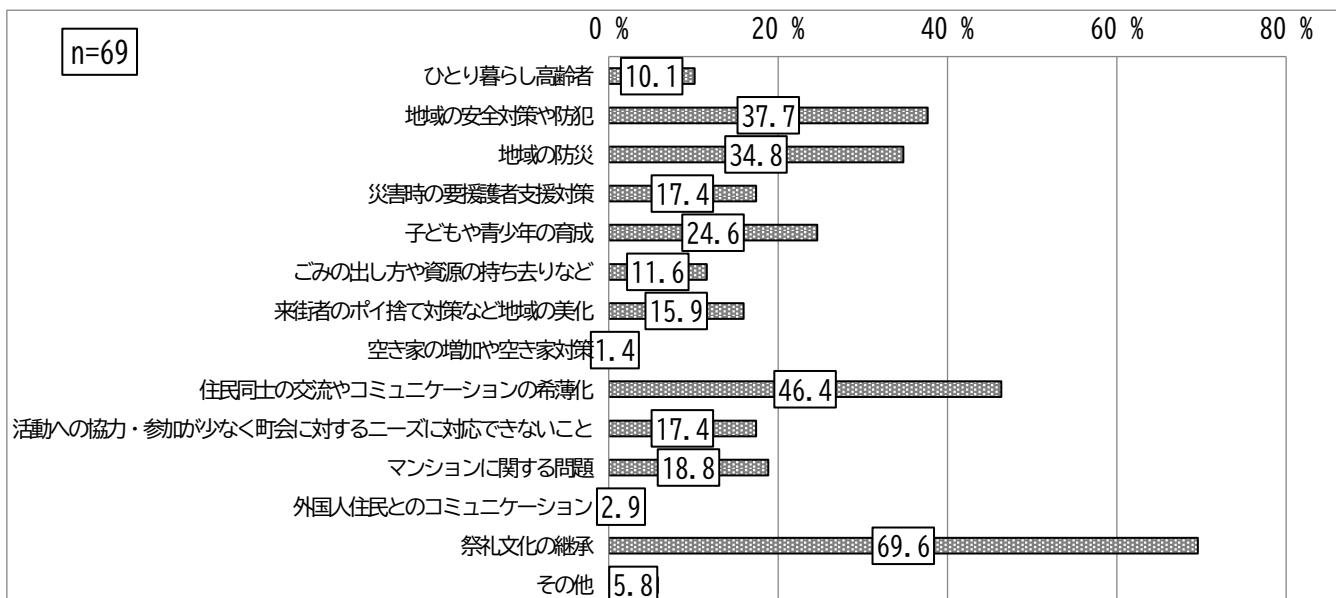
●町会のイベントや活動などの実施について、課題やお困りごとはありませんか。（〇はいくつでも）



15 特に重要な地域課題について（問 23）

「祭礼文化の継承」（69.6%）が約7割と最も高く、次いで「住民同士の交流やコミュニケーションの希薄化」（46.4%）、「地域の安全対策や防犯」（37.7%）、「地域の防災」（34.8%）と続いている。

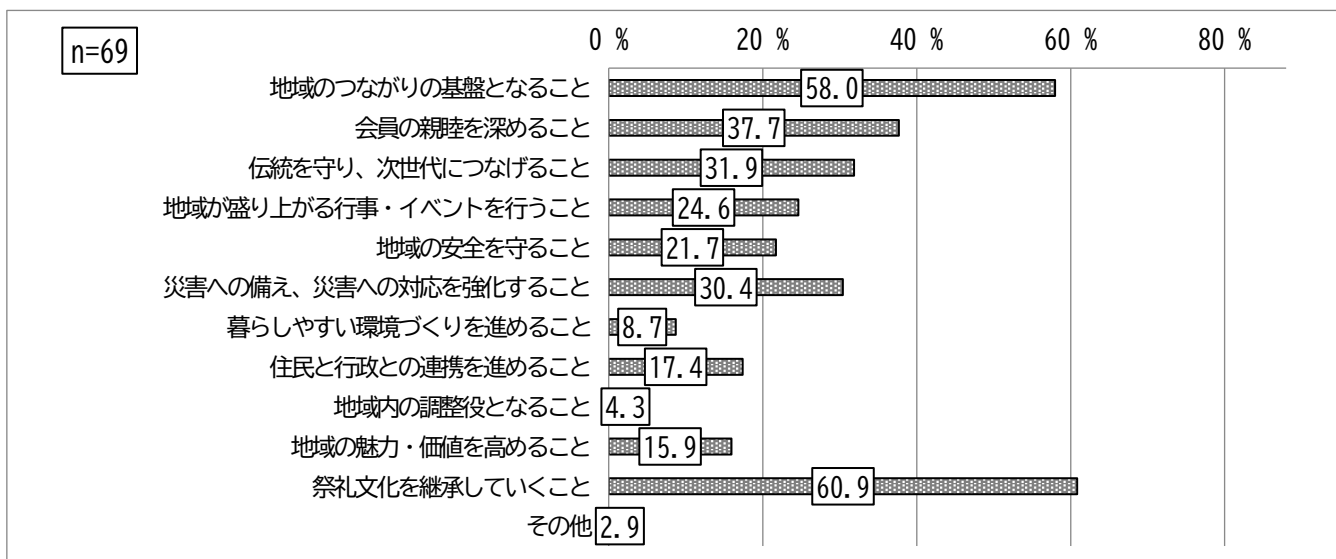
●現在、町会において、あなたが考える、特に重要な地域課題はどのようなことですか。（○は3つまで）



16 町会の役割・存在意義について（問 24）

「祭礼文化を継承していくこと」（60.9%）が6割超えと最も高く、次いで「地域のつながりの基盤となること」（58.0%）、「会員の親睦を深めること」（37.7%）、「伝統を守り、次世代につなげること」（31.9%）と続いている。

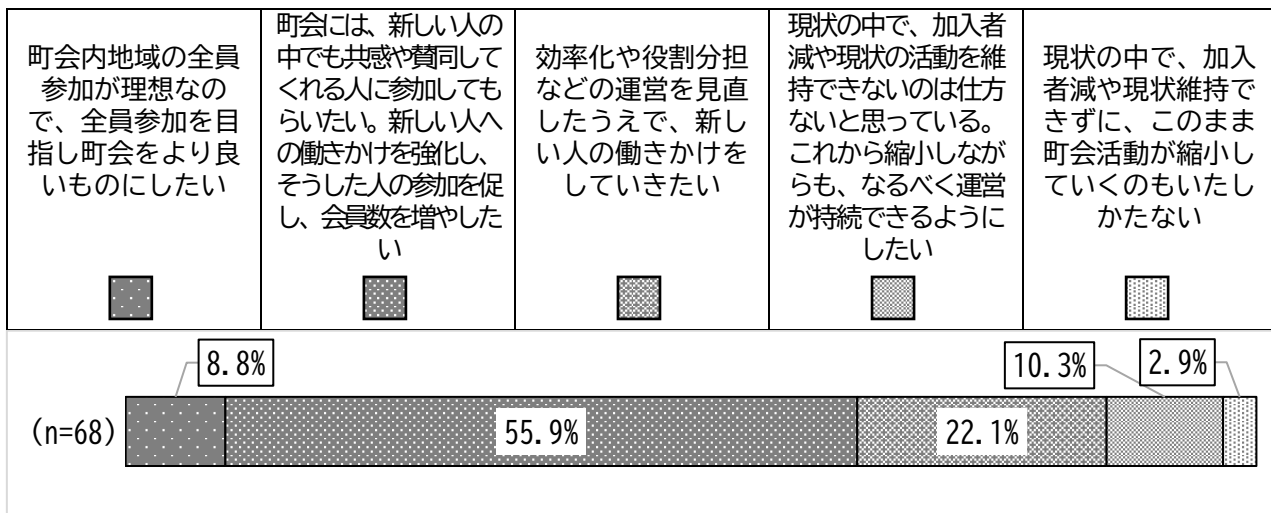
●町会の役割、存在意義として大切なことは何だとお考えですか。（○は3つまで）



17 これからの町会について（問 25）

「町会には、新しい人の中でも共感や賛同してくれる人に参加してもらいたい。新しい人への働きかけを強化し、そうした人の参加を促し、会員数を増やしたい」（55.9%）が5割台半ばを超えと最も高く、次いで「効率化や役割分担などの運営を見直したうえで、新しい人の働きかけをしていきたい」（22.1%）となっている。

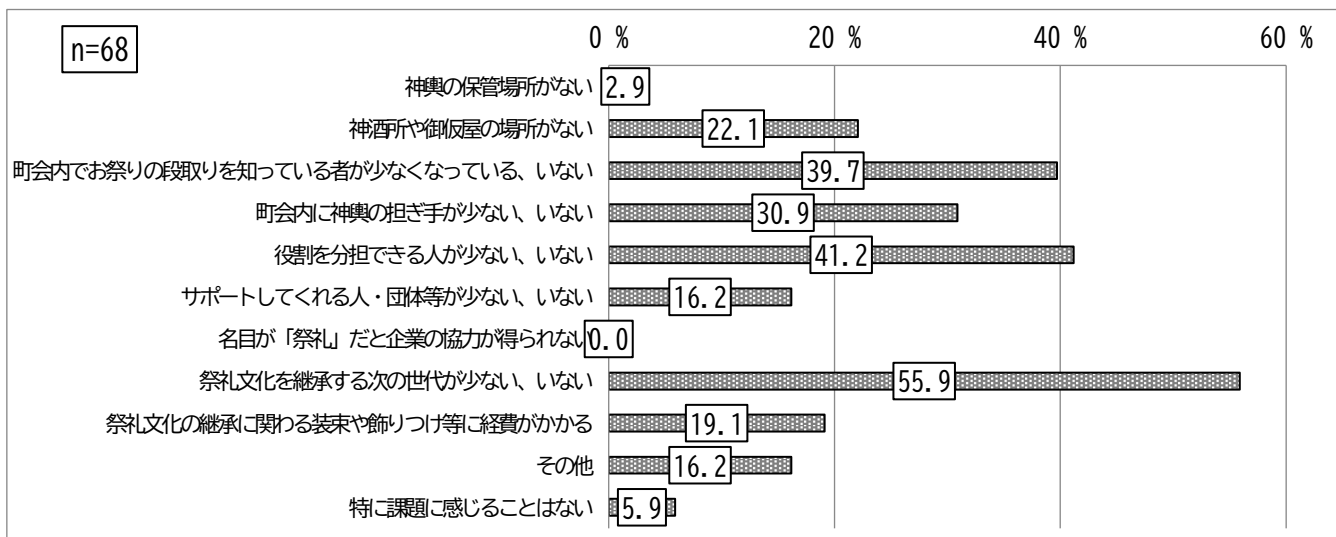
●青年部等として、これからの町会についてどのようにお考えですか。一番近いものを1つ選んでください。（○は1つ）



18 祭礼文化継承の課題について（問 26）

「祭礼文化を継承する次の世代が少ない、いない」（55.9%）が5割台半ばを超えと最も高く、次いで「役割を分担できる人が少ない、いない」（41.2%）、「町会内でお祭りの段取りを知っている者が少なくなっている、いない」（39.7%）と続いている。

●祭礼文化を継承していくにあたり、課題となっていることは何ですか。特に課題に感じるものを3つまでお選びください。（○は3つまで）



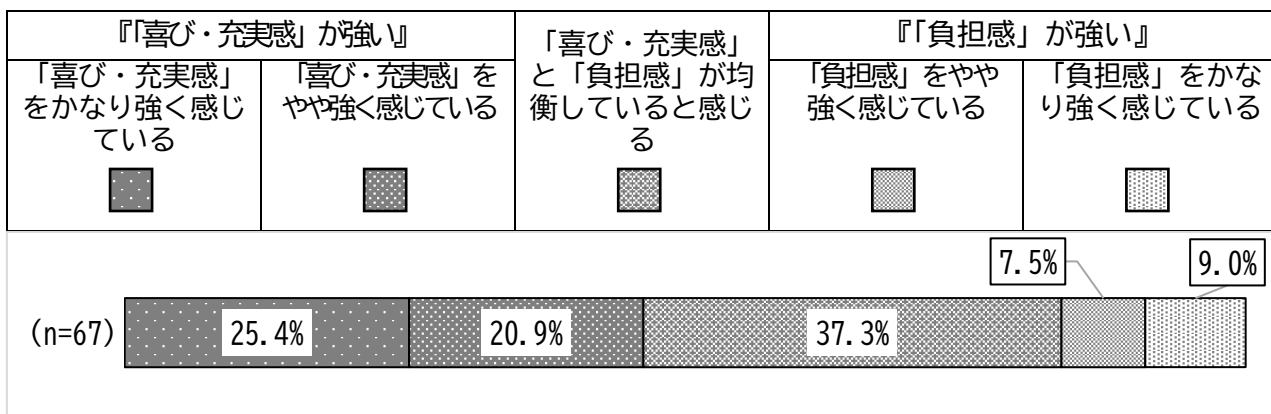
19 祭礼参加の充実感・負担感について（問 28）

「喜び・充実感」をかなり強く感じている」（25.4%）と「喜び・充実感」をやや強く感じている」（20.9%）を合わせた『「喜び・充実感」が強い』（46.3%）が4割台半ばを超えてであった。

一方で、「負担感」をやや強く感じている」（7.5%）と「負担感」をかなり強く感じている」（9.0%）を合わせた『「負担感」が強い』（16.5%）は1割台半ばを超えてであった。

また、「喜び・充実感」と「負担感」が均衡していると感じる」（37.3%）は3割台半ばを超えている。

●青年部長として、祭礼への参加の「喜び・充実感」と「負担感」のバランスをどのように感じていますか。一番近いものを1つ選んでください。（○は1つ）

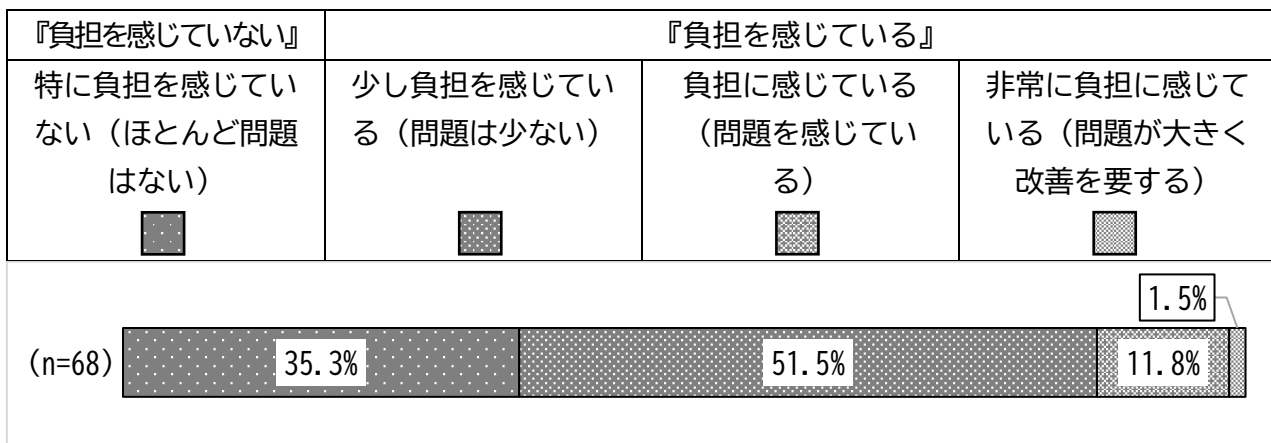


20 行政からの依頼の負担感について（問 30）

「少し負担を感じている（問題は少ない）」と「負担に感じている（問題を感じている）」と「非常に負担に感じている（問題が大きく改善を要する）」を合わせた『負担に感じている』（64.8%）は6割台半ば近くであった。

一方で、「特に負担を感じていない（ほとんど問題はない）」（35.3%）となっている。

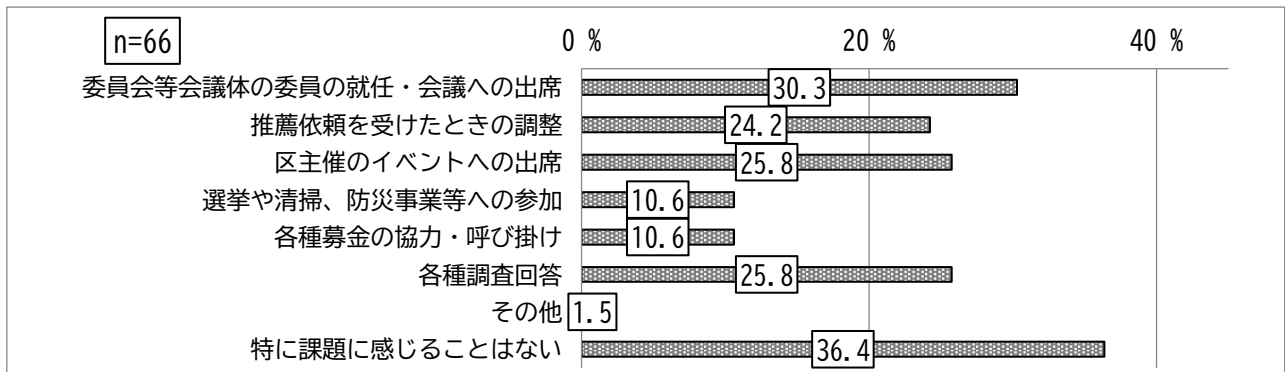
●青年部には行政（区、国、都、その他警察や消防など）からさまざまな仕事や役割をお願いしています。これらについて、どの程度負担に感じておられますか。（○は1つ）



21 行政からの依頼で負担感の大きいものについて（問 31）

「特に課題に感じることはない」（36.4%）が3割台半ばを超えと最も高く、次いで「委員会等会議体の委員の就任・会議への出席」（30.3%）、「区主催のイベントへの出席」（25.8%）、「各種調査回答」（25.8%）と続いている。

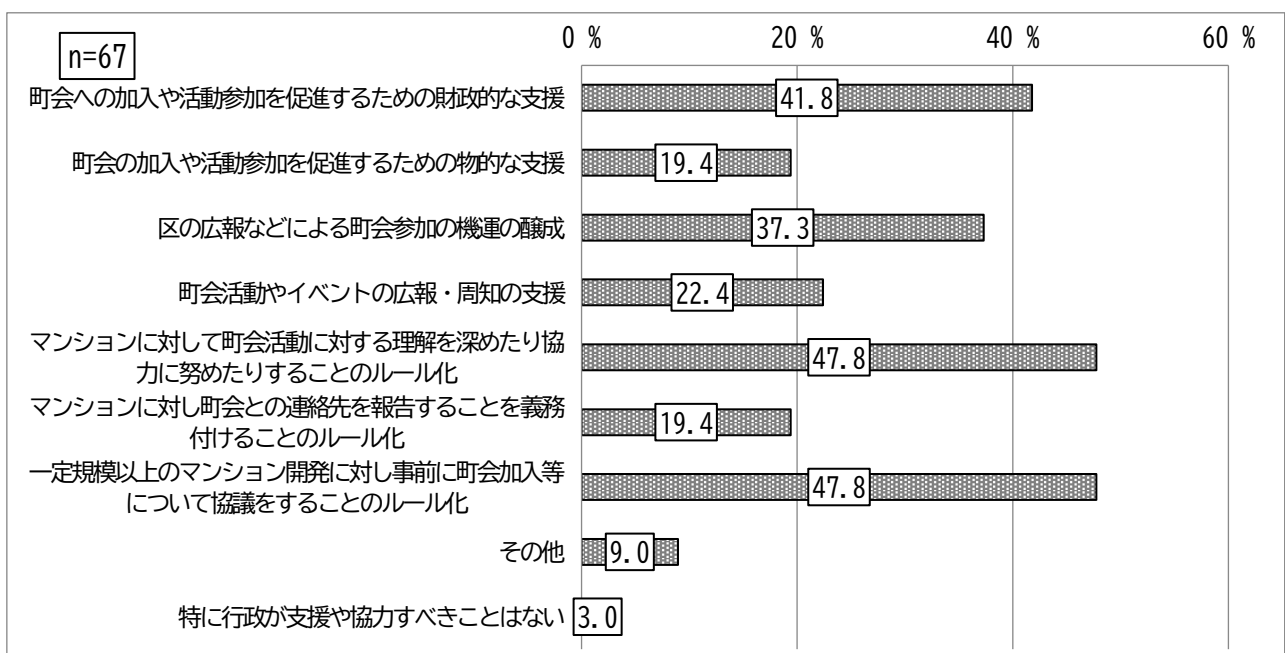
- 行政から依頼される仕事・役割のうち、特に負担が大きく、仕事量の軽減や実施方法を改善すべきだと思うものは何ですか。特に負担が大きいと感じになるものを3つまで記入してください。（○は3つまで）



22 町会加入促進について行政がすべき支援や協力について（問 33）

「マンションに対して町会活動に対する理解を深めたり協力を努めたりすることのルール化」（47.8%）、「一定規模以上のマンション開発に対し事前に町会加入等について協議をすることのルール化」（47.8%）が4割台半ばを超えと最も高く、次いで「町会への加入や活動参加を促進するための財政的な支援」（41.8%）となっている。

- 町会加入の促進について行政はどのような支援や協力をすべきだと思いますか。青年部等として特に重要だと思うものを3つまで選んでください。（○は3つまで）



23 町会活動や運営に対して行政がすべき支援や協力について（問 32）

「各種事業実施に対する財政的な支援」（56.7%）が5割台半ばを超えと最も高く、次いで「区への事務手続きの簡略化」（25.4%）、「町会と他の団体や事業者との協力・協働のコーディネート」（22.4%）となっている。

●町会の活動や運営に対して行政はどのような支援や協力をすべきだと思いますか。青年部等として特に重要だと思うものを3つまで選んでください。（○は3つまで）

